

Capo. 2 D
Capo. 4 C

(F)

展望台から

(A) 長峰の頂から 見下ろす わさび畑が

ポインツン 近くに 光って 見える

(B) 去年と同じ季節に 明科の麓から

車を走らせ またこの高台に やって来た

(A) 空も飛べるような気がして パラパラパラと空から

鳥に似たおのり高さに 正もすくんでしまう

(B) 遠い山と近い山の コントラストが 一目でわかる

その間に たたき 明科が 模型のように 広がる

(A) 顔を上げて見渡す 先に アルプスの パラマが

雲にまぎれて きれずれに つたがる

1. 2. 3.

(B) あの稜線をつたって 流り流った 日々の記憶は

すいぶん 前のもの になってしまった

(A) 南の屋根伝いの 先に 整備された 蝶の林が

昔の故郷 思わせる 景色 につくられてる

(B) 林の中に 敷かれた 道が 不思議な サークルを 描いて

山の上には 思えば いまの あたたかの 空間

(A) 長峰の頂から 見下ろす 川の 流氷が

ポインツン 近くに 光って 見える

(B) 去年と同じ季節に 明科の麓から

車を走らせ またこの高台に やって来た

L Capo. 3 ノーブル
R Capo. 8 オルナメント (Eb)

そんなことがなれる

オルナメント

C G F G
気のおくままに 歩いてきたことを

C G F G
今になってふりかえる

C G F G
気がついたときには わかづらくて

C G F G Em G F G Em G F G
今になって後悔する

気のおくままに しやべってきたことを

今になってふりかえる

気がついたときには 余計なことばかりで

今になって後悔する

Em G Em G
そんなことがなれる

F G Em
人知れず笑って忘れてしまおう

L ナツシズベル
R オルナメント (CGDGAD)

近くの港まで ひとりで行ったことを

今になってふりかえる

その時にそれほど思ってたことを

今になって肝銘する

砂浜の夕陽を ひとりで見えたことを

今になってふりかえる

その時にそれほど感じてなかったことに

今になって肝銘する

そんなことでなれる

心に刻んで しまっておこう

こころをいやして

傷口も向もかも ぶさいだあはで^{Am E7 C Em7 Dm}

荒治療なことを悔やしてしま^{G G7 C Am E7 Am}

あの人はこの胸に やきついたま^{Am E7 C Em7 Dm}

私の心からは消えそうに^{G G7 C Am E7 Am}

つかれている人の中にはあなた^{F C}

みえてしまうのは私の気づ^{F Dm7 E7}

ぶるえる私を抱いてくれたのは^{Am E7 C Em7 Dm}

別れのしるしだったとは思^{G G7 C Am E7 Am}

Capo. 5 Em
Capo. 7 Dm

(Am)

シジュウカラの言葉

Am G Am G

^G 新しくついた ^{Em} 緑の影から
^G 黒いネクタイの ^{Em} シジュウカラが
^C 見えないほどに ^D 素早く ^G 飛び ^{Em}
^{Am} 古い ^D 巣箱に ^G もぐる

^G 今年も ^{Em} 冬 ^{Em} 季節になったな
^G 少し ^{Em} 肌寒い ^{Em} 春の訪れ
^C 気がついた ^D ら ^G 明るい ^{Em} 陽射し
^{Am} ビニ ^D かに ^G 出かけ ^G ゆつたい

^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C し	^G とり	^G は	^G 嫌	^G が
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 君	^C に	^G 会	^G いた	^G よ
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 僕	^C は	^G ニ	^G に	^G いる
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 君	^C も	^G ニ	^G に	^G きて

ノーマル

^G 庭 ^{Em} 先に ^{Em} 伸びた ^{Em} 枝 ^{Em} の ^{Em} 中 ^{Em} から
^G 合 ^{Em} 図 ^{Em} する ^{Em} よう ^{Em} に ^{Em} 声 ^{Em} を ^{Em} 交 ^{Em} わ ^{Em} して
^C 入 ^D り ^G 替 ^{Em} へ ^{Em} る ^{Em} よう ^{Em} に ^{Em} 穴 ^{Em} から ^{Em} 出 ^{Em} て
^{Am} ぐ ^D の ^G 巣 ^G 箱 ^G に ^G も ^G ぐ ^G る

^G 今年 ^{Em} も ^{Em} た ^{Em} く ^{Em} さ ^{Em} ん ^{Em} の ^{Em} ビ ^{Em} ナ ^{Em} の ^{Em} 声 ^{Em} が
^G か ^{Em} 細 ^{Em} く ^{Em} 聞 ^{Em} こ ^{Em} える ^{Em} 歌 ^{Em} う ^{Em} よう ^{Em} に
^C 気 ^D が ^G つ ^{Em} いた ^{Em} ら ^{Em} 少 ^{Em} し ^{Em} や ^{Em} せ ^{Em} て
^{Am} ぐ ^D の ^G よう ^G に ^G 飛 ^G び ^G た ^G つ

^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 可	^C 愛	^G い	^G 子	^G 使	^G たち
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 大	^C き	^G く	^G ち	^G だ	^G たら
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 勇	^C 気	^G を	^G 出	^G して	^G
^G ツー・ツーピー・ツーピー・ツ	^{Am} ツー	^C 箱	^C から	^G 出	^G て	^G こ	^G らし

Capo. 0

会いにくくなった

G D Em G D Em D

G D C G
伝えているような気がして 心まで信じていた

G C Am G
何も伝えたくても 思っていることが

G D C G
距離を保つ世の中で 連絡しなかった

G C Am G
いつか会えるだろう せうとの気になんか

G D Em C D Bm
* 知らず知らずに 離れてしまう

G D Em C D G
伝え言葉も 気軽になくなった

G D Em C D Bm
いつの日にか 会いにくくなった

G D Em C D G
おかけるのも 怖くなってきた **

ノーマル + オープンD

G D Em G D Em

G D C G
一緒に飲んだあの店にも 行かなくなっちゃ

G C Am G
今でもあるのだろうか なくなっていないだろうか

G D C G
距離を保つ世の中で 会いにくいだけになって

G C Am
電話やメールさえも 今はずいぶん減った

G D Em C D Bm
知らず知らずに 遠くなって

G D Em C D G
かける誘いも 気軽になくなった

G D Em C D Bm
いつの日にか あの頃のように

G D Em C D G
冗談さえも 言えなくなってきた

(* ~ **)

思ひ出いとわわ)

D Em G D D Em G D A7

^D 白い朝 ^{Em} やけの中で ^G 赤い ^D 軍が

^D さわやかな風 ^{Em} を運ぶ ^G ニニは ^D 故郷

^D どうい ^{Em} えは汗 ^G をまいて ^D 走ったおの頃

^D 通学 ^{Em} カバン ^G を持った ^D 君 ^D を見るために

^G 今の僕 ^{A7} は ^{F#m} 現実 ^{Bm} だけ ^D を ^D みつけた

^G 生きて ^{F#m} ゆく ^{F#} こと ^{Bm} しか ^D でき ^D ない..

^G 息 ^{A7} 苦し ^{F#m} け ^{Bm} に ^D 気が ^D いた ^D 僕 ^D は

^G 思 ^{A7} .. 出 ^{Bm} ひと ^{A7} わわ)

幸せな時の中で 素直になれず

人の心のウラを讀まはかりしてる

ひとりであくことだけを思って

何も信じることはできない

そんな今の僕でもこの町は

やさしくみつめてる

Capo. 5 G
Capo. 7 ナチュラル F (C)
桜

D G C Em D7 D G C Em D7 G

Em D Bm Em Am D F#m
ここにも桜があったのか 気づかずにいた

Em D Bm Em Am D G
いそがしかった日が過ぎて 見える様になった

Em D Bm Em Am D B7
たくさん咲いていなくても 心が満たされる

Em D Bm Em Am D G
思ってたよりも 得た気持ちになる

G C D Bm Em C D G
* 桜咲いたね この冬の寒さを乗り越えて

G C D Bm Em C D G
桜咲いたね 風のいぶきを感じて **

ここにもドラマがあったのか 気づかずにいた

自分達の事ばかりで 見えなくなっていた

1-マシ + ナチュラル

思う様には いかないが 二枚をいれた事

努力してきたことは 必ず報われる

* 桜咲いたね 3月までの最後の贈り物

桜咲いたね 新しい緑を待ちながら **

季節が72はなくて 一年のしめくり

新年度の始まりを 区切ってくれる

(* ~ **)

(* ~ **)